

コアシンポジウム 3

「炎症性消化管疾患の最前線 多様化する炎症性腸疾患の治療戦略—外科手術も含めて—」

主司会 松本 主之（岩手医科大学内科学講座消化器内科消化管分野）

副司会 池内 浩基（兵庫医科大学炎症性腸疾患外科）

炎症性腸疾患患者の増加に伴い難治例の治療が大きな課題となっている。一方、新規薬剤が続々と承認され、潰瘍性大腸炎の腫瘍性病変やクローン病腸管合併症に対する内視鏡治療も注目されている。その結果、生物学的製剤の選択、手術適応などにおいて多くの問題が提起されている。そこで本コアシンポジウムでは、多様化する炎症性腸疾患の治療戦略を念頭に置いた臨床データを提示頂き、治療指針について論じたい。多くの演題応募を期待する。